

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課

- ■ 北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする
- ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ メールマガジン♪
- ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 研修会やイベントの開催情報
- ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、
- ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ 定住・起業の支援情報などを発信します。

■目次

- 【1】八雲町協力隊の活動紹介！～八雲町の観光マップを協力隊が作成しました！
- 【2】地域で活躍する協力隊 OB のご紹介！～上砂川町集落支援員エクルンド カール・ロビンさん
- 【3】イベント情報！～留萌管内地域おこし協力隊プレゼンツ～オータムフェスト in ましけ
- 【4】協力隊としての活動を広く周知したい方や成果を残したい方必見！～北海道のホームページではコンテスト情報などを発信しています！
- 【5】鳥獣対策に取り組んでいる方必見！～動物と人間の共生を基本方針とした鳥獣対策、ゾーニング技術を習いませんか？
- 【6】観光に取り組んでいる方・卒業後に起業を考えている方必見！～滋賀県のサイクルツーリズムを学ぶ「ピワイチ」視察研修開催のお知らせ！
- 【7】北海道からのお願い！～「自転車利用環境整備」に係るクラウドファンディングの実施！

- 【1】八雲町協力隊の活動紹介！～八雲町の観光マップを協力隊が作成しました！
- 八雲町地域おこし協力隊のから活動報告をいただきましたのでご紹介します！
- 皆さんからの活動報告もお待ちしております！

皆さん、初めまして！八雲町地域おこし協力隊です。

今回は八雲町の地域おこし協力隊が活動の一環で作成し、8月に公開・発行されました、八雲町の観光マップ「やくもにじいろマップ」について紹介します。

まず、マップ制作に至った背景ですが、

- ・協力隊として移住をしてきた際に、どんなスポットやお店があるのかを把握しづらいことがあり、もしかしたら観光客の方も同じことを感じているのではないかと
- ・移住者の目線から感じた、八雲町の魅力を観光客だけでなく、町民の方にも再認識してもらいたいという思いからマップを制作することになりました。

このマップのポイントは「にじいろ」という名前にもあるように、八雲町の魅力を「グルメ」「おみやげ」「アウトドア」「フォトスポット」「歴史」「湯どころ」「熊石」という7つにジャンルを分けて発行しているところです。

ジャンルを分けることで、テーマに沿って情報を分散できるので、それぞれのスポットや事業者について詳しい説明や写真を掲載でき、知りたい情報へアクセスがしやすいマップになっています。

また、発行者側としては、紙で受け取られた数やWEBからダウンロードされた数を計測していくことで、どのジャンルが特にニーズがあるのかを把握できるので、今後の改善に繋げやすいというメリットがあります。

制作にあたり、デザインについて何度も議論を交わして修正を重ねたり、関係各所との調整を行ったりと大変な部分もありましたが、結果としては満足のいくマップを完成させることができました。また、掲載箇所の町内事業者に取材をさせていただき、新たな繋がりが生まれたことをきっかけに、今後の協力隊活動の幅を広げていきたいと思っております。

今回で終わりではなく、改善を続けていきながら、八雲町の魅力を少しでも多くの方にお伝えできるように活動していきます！

【やくもにじいろマップはこちらから】

<https://www.town.yakumo.lg.jp/soshiki/seisaku/yakumomap.html>

JR 八雲駅や噴火湾パノラマパークなど町内各所で紙版の配布をしております。

八雲町にお越しの際はぜひチェックしていただけると嬉しいです！

問い合わせ先

八雲町地域おこし協力隊

八雲町役場八雲町役場 商工観光労政課内商工観光労政課内

TEL 0137-62-2116 FAX 0137-62-2149

MAIL yakumo.cok@gmail.com

【2】地域で活躍する協力隊 OB のご紹介！～上砂川町集落支援員エクルンド カール・ロビンさん

協力隊を卒業されてからも、引き続き地域で活躍されているエクルンド カール・ロビンさんをご紹介します。

・自己紹介をお願いします

2018年の秋に上砂川町へ移住し、上砂川町地域おこし協力隊員になりました。

協力隊卒業後、2022年4月から現在にかけて集落支援員として活動しております。

・地域おこし協力隊の3年の任期を終え、一番思い出に残っていることは？

任期1年目の上砂川町での生活です。日本社会に慣れるまでの期間は思い出に残っています。新たな環境で生活をするのは大変ですが、成長のきっかけになるからこそ、やりがいはあるかと思えます。

・上砂川町集落支援員になったきっかけは？

地域おこし協力隊の卒業が近づいてきた3年目、まだまだ「上砂川町を良くしたい」という意志を持っていました。そのため、当時の町役場の担当者にその気持ちを伝え話し合いました。結果として、地域おこし協力隊卒業後に、より地域に入り込める集落支援員として活動することになりました。

・支援員としての活動内容や、やりがい、大変だと思うことは？

現在の活動は幼児・小学生が英語に触れる機会を増やす企画を行っています。

大変なこともあります、やはり子ども達の笑顔を見るとやりがいを感じます。

今秋からは新たにデジタル弱者をサポートするスマートフォンサポート企画を予定しております。

一番の困り事は新型コロナウイルスの感染拡大の影響です。

予防対策のため、予定している行事が突然中止になる状況が今だに続いているため、活動が制限されていると感じます。

・最後に現役の協力隊員に向けて一言をお願いします！

現在の新型コロナウイルスの感染拡大の状況は大変活動しづらく、そして縛りがあるかとも思えます。おそらくもう少しこの状況が続くことが予想されるため、そんな環境の中でも、活動が継続できる方法を探して行って欲しいと思います。

カールさん。お忙しいところどうもありがとうございました！

【3】 イベント情報！～留萌管内地域おこし協力隊プレゼンツ～オータムフェスト in ましけ
留萌管内の協力隊で構成されている「留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク」さんからイベント情報が届きました！留萌管内の地域おこし協力隊の活動を知りたい方やつながりたい方、美味しいものを食べたい方は、ぜひ、参加してみてください。

10月8日（土）9日（日）に旧増毛駅（増毛郡増毛町弁天町1丁目）にて「～留萌管内地域おこし協力隊プレゼンツ～オータムフェスト in ましけ」を開催します。天塩・初山別・羽幌・留萌・増毛の協力隊員が自分の町の好きな物や特産品を持ち寄り販売します！

天塩のしみラーメン、初山別の新鮮な野菜、羽幌の無農薬米、留萌のカズチー、増毛の果物など各地域からおすすめの品を持って集まります！

各協力隊の活動紹介ブースもあります！

「地域おこし協力隊ってなにをしているの？」「他の地域の協力隊はどんな活動をしているの？」同じ留萌管内でも一人一人活動は違います！

ぜひ気になった方はご来場下さい^^

問い合わせ先

増毛町地域おこし協力隊 小河しずく

電話：0164-53-3332

Email：ogawa.shizuku@towm.mashike.lg.jp

【4】 協力隊としての活動を広く周知したい方や成果を残したい方必見！～北海道のホームページではコンテスト情報などを集約しています！

協力隊としての活動を多くの方に知っていただく方法は、自治体で開催する活動報告会や SNS による情報発信など様々あると思います。

その方法の一つとして、コンテストに応募してみるのも良いのではないのでしょうか。

ご自分の活動へのモチベーションアップになりますし、活動をまとめる機会になると思います。

関心のある方は、道のホームページに情報を集約していますので、ぜひ、ご覧ください！

あわせて、総務省や JOIN 主催の研修会情報もお知らせしています。

URL：<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/83329.html>

【5】 鳥獣対策に取り組んでいる方必見！～動物と人間の共生を基本方針とした鳥獣対策、ゾーニング技術を習いませんか？

元沼田町地域おこし協力隊の菅野さんが所属されている NPO 法人ファーミングサポートから、ご案内がありましたので紹介します！

NPO 法人ファーミングサポートでは、地域の鳥獣対策にご関心のある隊員に向けた技術講習会を実施します。講師は岩見沢市東部丘陵地域のエゾシカによる農業被害 90%削減を達成した「原田モデル」と呼ばれる実績を持つ原田勝男氏。その長年のノウハウを盛り込んだ直接指導が受けられますので、興味・関心のある方は、ぜひ下記連絡先へご連絡ください！

○ 講師

原田 勝男（NPO 法人ファーミングサポート理事/農林水産省 農作物野生鳥獣アドバイザー）
北海道庁より委託のエゾシカ捕獲技能講習会などを含め、200 回を超える講演会・現地指導を全国各地で実施。技術継承の為、若手人材育成（学生等）に特に力をいれている。

NHK：隻眼の老獵師

<https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/slug-naaca1a779381>

○ 連絡先

担当：菅野 敦（NPO 法人ファーミングサポート北海道/元沼田町地域おこし協力隊）

電話：090-6996-6240

<http://teamwana.pro/free/machiokoshi>

また、地域全体の鳥獣対策のご相談・原田講師のくくり罠講習会、ヒグマ捕獲の現地調査・アラグマ用箱罠・シカ用くくり罠・クマ用檻罠・電気止め刺し器・防除用電気柵、捕獲センサーのご紹介も承ります。

詳しい実績・活動内容はホームページ（<http://teamwana.pro/>）をご覧ください。

講習場所：岩見沢市地域

集合場所：岩見沢市上志文町 281 番地

開催日：参加者の申込状況により開催。又は開催時に案内いたします。

受講料：1万5千円（税込）

スケジュール：1泊2日

- ①基本合宿形式 1日目午後13時～17時
2日目午前9時～15時（鹿の捕獲状況により前後あり）

- ②日帰りをご希望の方（受講料・スケジュールなど相談可）

申込方法：ホームページからのお問合せと電話にて受け付けております。

※宿泊料金につきましては別途自己負担となります。お近くのホテル等をご利用いただくか、当団体が管理する宿泊施設もございます（こちらの施設での宿泊を希望される方はご相談ください）。

【6】観光に取り組んでいる方・卒業後の起業を考えている方必見！滋賀県のサイクルツーリズムを学ぶ「ビワイチ」視察研修開催のお知らせ！

北海道ふるさと回帰支援センターでは、北海道内市町村で活動中の地域おこし協力隊員の方を対象に、ワークショップ講座を定期開催しています。

隊員任期後の定住の道には「起業」があります。道内においてもカフェ、ゲストハウス、キッチンカー、ツアーガイド、学習塾など、様々な分野でOB.OGの方々「起業」を選択し自らの道を歩んでいます。本研修は、観光やサイクルツーリズム分野での起業を目指す方、まちづくり分野等での隊員活動を進める方へ向けた先進地視察研修です。地域おこし協力隊員の他、自治体職員の方もご参加いただけます。

ご不明点等ございましたらお気軽に事務局までお問い合わせください。

今年度、滋賀県においては「ビワイチ推進条例」が制定され11月3日を「ビワイチの日」と定め、11月3日～9日までを「ビワイチ週間」としました。「ビワイチ週間」には滋賀県内各地でサイクリングを盛り上げるイベントの実施や特設エイドステーションを設けるなどの計画がなされています。今回の研修企画はそれら様々な取り組みを実際にサイクリングで訪れ体験視察するものです。

日 時：11月6日（日）9：30～17：00 7日（月）9：30～16：00 2日間

場 所：滋賀県守山市及び琵琶湖一周ナショナルサイクルルートとその周辺エリア

定 員：7名（申込受付順）※最小催行人数3名

申込締切日：10月6日（木）※先着順

お申し込み先：NPO 法人北海道ふるさと回帰支援センター（担当 山口）

